



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 北陸瓦斯株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9537 URL <http://www.hokurikugas.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）敦井 一友
 問合せ先責任者 （役職名）経理グループマネージャー （氏名）渡辺 新吾 TEL 025-245-2211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	14,860	0.1	1,495	△15.0	1,645	△12.9	1,385	△1.9
2026年3月期第1四半期	14,841	12.3	1,760	198.7	1,887	176.5	1,413	58.5

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,515百万円（8.5％） 2026年3月期第1四半期 1,396百万円（32.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	297.04	—
2026年3月期第1四半期	303.58	—

（注）2026年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	69,898	58,051	78.2
2026年3月期	71,507	56,923	74.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 54,671百万円 2026年3月期 53,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	80.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	70,700	9.7	1,920	△49.5	2,260	△45.9	1,830	△42.5	392.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	4,800,000株	2026年3月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	133,240株	2026年3月期	134,598株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	4,665,883株	2026年3月期1Q	4,655,492株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4～6月）のガス販売量につきましては、前年に比べ気温が高く推移したことから給湯・暖房用需要の減少はあったものの、業務用のお客さま設備の稼働の増加により前年同期に比べ15.7%増の102,926千 m^3 となりました。売上高につきましては、原料費調整に伴うガス料金単価の引き下げがあったものの、ガス販売量の増加などにより前年同期に比べ18百万円増加の148億60百万円となりました。

営業費用につきましては、LNG価格が前年に比べ低く推移したものの、ガス販売量の増加による原料費等の増加があったことから、前年同期に比べ2億83百万円増加の133億64百万円となりました。

この結果、前年同期に比べ営業利益は2億64百万円減少の14億95百万円、経常利益は2億42百万円減少の16億45百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては27百万円減少の13億85百万円となりました。

なお、当社グループの連結業績は、季節的変動の著しいガス事業の占めるウェイトが高いため、ガスの需要期である冬期を中心に春先にかけて、売上及び利益が多く計上されます。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期末における総資産は698億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億9百万円の減少となりました。増減の主なものは、売掛金残高等の減少18億64百万円などです。

なお、純資産は580億51百万円となり、自己資本比率は3.3ポイント増加し78.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績は、ガス事業の占めるウェイトが高いためガスの需要期である冬期の気温の影響が大きく、現時点において2026年5月15日公表の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	3,829,659	3,819,934
供給設備	31,012,025	30,659,535
業務設備	3,341,131	3,313,060
その他の設備	924,599	924,943
建設仮勘定	431,006	584,979
有形固定資産合計	39,538,422	39,302,453
無形固定資産		
のれん	3,090,947	3,030,241
その他無形固定資産	1,022,963	1,075,535
無形固定資産合計	4,113,911	4,105,776
投資その他の資産		
投資有価証券	6,578,792	6,852,523
退職給付に係る資産	2,490,887	2,501,521
繰延税金資産	501,560	521,174
その他投資	2,512,190	2,618,424
貸倒引当金	△28,449	△28,507
投資その他の資産合計	12,054,982	12,465,136
固定資産合計	55,707,316	55,873,367
流動資産		
現金及び預金	8,229,426	8,278,510
受取手形、売掛金及び契約資産	6,436,976	4,572,062
その他流動資産	1,152,076	1,188,977
貸倒引当金	△18,304	△14,697
流動資産合計	15,800,174	14,024,853
資産合計	71,507,491	69,898,221

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	68,455	62,114
繰延税金負債	1,634,870	1,677,188
役員退職慰労引当金	150,284	149,284
ガスホルダー修繕引当金	1,590,715	1,664,512
器具保証引当金	384,536	376,825
退職給付に係る負債	82,935	82,639
その他固定負債	544,870	549,341
固定負債合計	4,456,669	4,561,907
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	779	779
支払手形及び買掛金	4,187,854	2,767,699
未払法人税等	846,420	288,412
その他流動負債	5,092,011	4,227,915
流動負債合計	10,127,066	7,284,807
負債合計	14,583,736	11,846,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,400,000	2,400,000
資本剰余金	21,277	21,277
利益剰余金	46,771,430	47,781,799
自己株式	△399,202	△395,340
株主資本合計	48,793,504	49,807,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,338,057	3,523,657
退職給付に係る調整累計額	1,426,201	1,340,156
その他の包括利益累計額合計	4,764,258	4,863,813
非支配株主持分	3,365,992	3,379,956
純資産合計	56,923,755	58,051,506
負債純資産合計	71,507,491	69,898,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	14,841,926	14,860,472
売上原価	8,159,934	8,285,669
売上総利益	6,681,991	6,574,803
供給販売費及び一般管理費		
供給販売費	4,271,281	4,454,440
一般管理費	650,275	624,597
供給販売費及び一般管理費合計	4,921,556	5,079,038
営業利益	1,760,434	1,495,765
営業外収益		
受取利息	474	3,687
受取配当金	75,722	97,743
受取賃貸料	15,090	15,956
持分法による投資利益	19,486	11,249
その他	17,152	20,875
営業外収益合計	127,926	149,512
営業外費用		
支払利息	66	—
その他	382	113
営業外費用合計	449	113
経常利益	1,887,912	1,645,164
税金等調整前四半期純利益	1,887,912	1,645,164
法人税等	443,349	231,109
四半期純利益	1,444,562	1,414,054
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,225	28,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,413,337	1,385,937

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	1,444,562	1,414,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,824	187,545
退職給付に係る調整額	△61,496	△86,044
その他の包括利益合計	△47,672	101,500
四半期包括利益	1,396,889	1,515,554
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,364,919	1,485,492
非支配株主に係る四半期包括利益	31,970	30,062

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	都市ガス				
売上高	14, 102, 256	1, 715, 115	15, 817, 371	△975, 445	14, 841, 926
セグメント利益	1, 739, 850	12, 890	1, 752, 740	7, 694	1, 760, 434

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業、ガス設備の保全・設計施工事業、住宅設備機器の販売施工事業、土木・管工事業、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額7,694千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「企業結合等関係」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「都市ガス」セグメントにおいて、小千谷市のガス事業譲受けに伴い、のれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、1,576,893千円であります。なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	都市ガス				
売上高	14,021,821	1,846,245	15,868,066	△1,007,593	14,860,472
セグメント利益	1,493,239	22,692	1,515,931	△20,166	1,495,765

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LPG事業、ガス設備の保全・設計施工事業、住宅設備機器の販売施工事業、土木・管工事業、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△20,166千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていたLPG事業、ガス設備の保全・設計施工事業、住宅設備機器の販売施工事業、土木・管工事業、太陽光発電事業について、重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,343,021千円	1,352,739千円
のれんの償却額	60,706	60,706

（企業結合等関係）

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2025年4月1日に行われた小千谷市のガス事業譲受けについて前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額1,890,023千円は、会計処理の確定により313,130千円減少し1,576,893千円となっております。のれんの減少は、顧客関連資産440,000千円、繰延税金負債126,869千円がそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、供給販売費が1,585千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,585千円減少し、法人税等が78,419千円減少したことにより、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ76,833千円増加しております。